

東風

HARUKAZE

令和3年6月30日発行

持続可能な社会を実現するSDGsの取組③

高潔性・公益性

ボトル to ボトル



新宮東中学校は
目標11を特に
大切にしています!



右の写真は、職員室の回収ボックスです。

職員室の中では、ずいぶん分別がすすんできました。
キャップを取り、中身を洗って、ラベルをはがすまで
10秒程度でしょうか。ちょっとした気配り・心配りを
積み重ねて、「住み続けられるまちづくり」に寄与して
いきたいと考えています。

生徒の皆さんはどうですか。次号では、校内にある自
動販売機横の回収ボックスをレポートしたいと思
います。全校生徒の皆さん一人ひとりの行動を期待し
ます。

ペットボトルを、100%ペットボトルに戻す意識を
高めることで、ふるさと新宮の立花山や白砂青松、そ
してふれあいの丘がいつまでも美しいままに持続できることを願っています。



グリット

やり通することでやり抜く力 [GRIT] を鍛える

GRITは、**Guts**（困難なことに立ち向かう）、**Resilience**（失敗しても諦めずに続ける）
Initiative（自分で目標を見据える）、**Tenacity**（最後までやり遂げる）の頭文字で、「やり抜く
力・粘る力」等の資質・能力のことです。今年度から特に、東中校区小・中学校で大切にしています。

中体連糟屋区大会は、6月23日（水）の陸上大会（博多の森）からスタートし、26日（土）、
27日（日）を中心に、糟屋区内中学校等で開催されました。真剣勝負の大会ですから、勝つチーム
があれば、負けるチームもあります。昨年夏は、その真剣勝負の場すらなかったことを考えると、ひ
とつの節目として全17中学校1分校参加しての大会が無事開催できて本当によかったと心からそう
思います。「学生時代にそれだけ必死に部活動に打ち込んで、鍛錬を積んできた生徒なら—それだけ
やり抜く力 [GRIT] が強ければ—どんなことをやっても同じように熱心に取り組める」と著者は
唱えています。やり抜く力の強い部活動文化の礎を築き上げてくれた3年生にとても感謝しています。

